



育子園のうさぎ
みみちゃんの
みみよりHOTニュース

① 育子園職員が 3.11 被災地の保育ボランティアへ行ってきました。

① ◎ 3.11 東日本大震災 被災地保育ボランティア派遣 ◎

3.11 東日本大震災の被災地、岩手県下閉伊郡山田町の保育園に育子園職員 2 人が 7 月と 8 月、保育ボランティアに行ってきました。

この保育ボランティアは東京都社会福祉協議会保育士会が日本ユニセフ協会の協賛を得て、東京都内の保育士資格者を募って派遣する企画です。厚生労働省も 3 月から現地派遣を計画してはいますが、未だに調整中です。国の動きは待ってられないということで、杉並区の保育園で働いている職員の関連で山田町の 2 カ所の保育園でボランティアが実現することになりました。

山田町の保育園で働いている保育士さんの中にも、家族や家を失って避難所生活をしながら保育をしている方もいるそうです。東京から派遣される保育士と現地の保育士との心の交流が期待されています。

★「見守る保育」は、新宿せいが保育園 藤森園長主宰のギビングツリーが提案している保育です★
～ シリーズ「見守る保育」～

5 月 29 日(日曜日)に今年度 1 回目、全職員対象の理念研修会を行いました。総勢 60 人が参加し、保育コンサルタントを依頼している(株)カグヤにファシリテートしてもらいながらの中身の濃い約 3 時間の研修でした。研修会は今回も 60 人が無作為のチームを編成し、ウォーミングアップとしてアイスブレイクゲームで楽しみました。ホワイトボードに記された「お題」を、チーム対抗のきり絵で表現して競うゲームです。ミッキーマウス、普門館、運動会など視覚やイメージを膨らませるお題にチームワーク良く取り組みました。

今回の研修目的は、

- ① 保育理念の大切さ(育子園の保育理念は、仏教精神を基盤とした子ども主体・子ども中心の見守る保育)、理念の実践化、理念があることの素晴らしさの確認。
- ② 保育理念の上で職員同士が本気で関わる事ができる居心地の良さとチャレンジ。
- ③ 育子園の保育理念を園の外にも広げていく。

以上のことを踏まえて、6 つのグループに分かれて「一元対話」を行いました。



一元対話はゲームの一つですからルールがあります。その基本はメンバーの話を傾聴・受容し共感することがルールです。年齢や経験による序列の無いゲーム、最も民主的なルールです。各グループで、「子ども主体・子ども中心の見守る保育」の実践目標を話し合い発表しました。それぞれの目標は、相手や環境を変えようとせずに、自分が変わる実践を掲げていましたので素晴らしいと思います。

さて、研修会の冒頭、平成 22 年度 1 年間の職員皆勤賞 11 人(無遅刻早退無欠席)・精勤賞 14 人(欠勤遅刻早退 2 回以内)の受賞式を行いました。ちなみに平成 21 年度は皆勤 12 人・精勤 5 人でしたから、年々受賞者が増えています。この制度が始まって 4 年になりますが、4 年連続皆勤賞 1 人、3 年連続 1 人含まれています。このように心身ともに充実した職員が大勢いることは本当に有難いことです。

(2011.6.1 育子園ホームページ 園長ブログより)

クラスだより



育子園ホームページ「園のこだわり」(フログ)で園内の様子など毎日アップしています。是非、ご覧ください。

初体験!!!

6 月のつぼみ組さんは、だんだんと暑くなってきて、お部屋の扇風機も大活躍です。汗をかくようになって沐浴を経験しています。ニコニコではいる姿やウーンとびっくりする姿…様々で、賑やかな毎日です。いよいよ夏本番! 夏あそびを経験しながら気持ちよく、楽しい 7 月にしていきたいと思ひます。



[つぼみ組]

観察・発見・喜び

5 月に植えたミニトマトの苗がとても大きく伸びてきました。緑色の小さな実もつき始め段々と大きくなる様子を子どもたちは楽しみに見えています。トマトを観察しているうちに「アッ!だんご虫!」と他の発見も! 自然に触れあいながら毎日楽しく過ごしています。



[きく・たんぽぽ組]

優しさの芽、育っています!

最近の嬉しかった出来事です。A 君が、動物の絵本を持ってきて「わんわん!」「ぞうさん!」と言いながら楽しそうに見ていました。その声にお友だちも覗き込み、みんなで絵本を見るかたちになりました。しかし、まだ『みんなで!!!』はちょっと難しい時期……



その時も、楽しく読んでいたはずが、だんだん取り合いになり、雰囲気が一変しました。そんな時、A 君は、パッと立ち上がりどこかへ行っていました。そして、戻ってきた A 君が持っていたのは、違う動物の絵本! その絵本を読んでいたお友だちに貸したのです。

その優しさに、私は嬉しくなり、「ありがとう」と A 君の頭をなでなで……もらったお友だちも一緒に A 君をなでなで…再び、笑顔いっぱい素敵な雰囲気になりました。

まだ、やりとりが上手くいかず、トラブルもありますが、子どもたちの元々持っている優しさを大切にしていきたいと思ひます

[ふじ組]

暑い夏も楽しく…

蒸し暑い日が続き、子どもたちも汗だくになりながら遊んでいます。(もちろん、水分補給をしながら…) 水鉄砲やバケツ、山のポンプで水遊びを楽しんでいます。

たくさん濡れ「こんなにびしょびしょになっちゃった」と得意気のみんな!

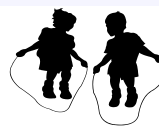
いっぱい遊んだ後は、シャワーを浴びてサッパリ!!!

大人は、スッキリ顔の子どもたちを見て、「いいなあ〜」と

うらやましがっています。



[うみ・にじ・そらグループ]



親が子どもに期待をかけて自由を奪ってしまつと、子どもはその重さから逃げようとして、うそをつくようになります。

第三条 うそをつかない
《子育てしぐさ十ヶ条》より
日本人の心と体にしみ込んで生かされてきた、素晴らしい智慧の数々……
いま話題の『子どもが育つ江戸しぐさ』よりご紹介させていただきます。
うその根底には自己防衛があり、うそつきとは自分を守るために事実でないことを言ったり、他者のせいにしたたりする卑怯な行為です。
日本では昔から「うそつきは泥棒の始まり」と言い、うそをつくことで良心がくもり始めると、ものを盗むことも平気になると戒めてきました。
ある本屋のご主人が、次のように言っておられました。
「万引きする子どもはうそがうまい。親御さんは一見すると普通の人間だけど親に意見すると、あちらもなんやかやと言いつつ返すんですよ」
「鐘はついても、うそはつかない」という江戸の親に言わせれば、「初めが肝心!」と言うでしょう。